

蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞

(蚕を学ぶ奨励賞)

埼玉県立 川越総合高等学校

活 動 概 要

川越総合高等学校は、1920年に蚕糸業の指導者や技術者を養成する県立蚕業学校として開校され、昭和初期は養蚕実習などが行われていた。現在は有志生徒により蚕が飼育されている。

創立100周年事業の一環で、養蚕資料室（養蚕関係の民具類、史料、文献等を収蔵・展示）を校内に新設し、文化祭で生きた蚕の展示など一般公開している。

2024年には秩父夜祭の「蚕糸祭」で同校の生徒が生産した繭が初めて奉献された。

このように、川越総合高等学校では蚕に関わる活動を通して、蚕糸業の歴史、文化の継承に貢献している。